

「どうしたらうちの子、成績が上がりますか。」といった質問を受けることがあります。「勉強したら上がりますよ。」ということですが、「先生！それが難しい。なかなか勉強してくれないんですよ」「ええ？勉強してくれないのですか。」

変な会話になりそうですが、実は、この質問、答えるのが難しい。学習と生活はものすごく関係があるので、生活を抜きにして学習だけを聞かれてもなかなか答えられないのです。

「中学校で伸びる子にするために、どのようなことに気をつけると良いのでしょうか。」そんなテーマで入学説明会に参加された方々には、一度お話したことがあります。新入生の皆さんには初めてです。もちろん在校生にも初めてです。さて、一から十までどのくらいできていますか。

一、目覚まし時計で、自分で起床する習慣をつけよう。

- 今日の一日は自分の力で始める。言われてするようでは、言われないとしない子になってしまいます。また、時計を見て、計画的に行動できるようになろう。時間を守ることは、時間を大切にすることです

二、必ず朝食をとろう。

- 朝食で体が目覚め、今日一日をがんばる力になります。

三、自分からすすんで挨拶しよう。

- 相手を認め、相手に認めてもらう。それが挨拶です。

四、部活動をしよう。

- 学校で上の2学年と下の2学年の五歳差の人間関係が学べます。また、心と体を鍛えることができます。長所や個性を伸ばすことができます。

五、家事をしよう。

- お手伝いではありません。ちゃんとした家の仕事の分担です。

六、読書をしよう。

- 良い本を見つけて熱中すると、気がつくとも学力が向上しています。上牧第二中学校は読書する環境があります。

七、スマホ携帯電話など利用をできるだけ減らそう。

- たくさんのお金と時間と労力を使うのはもったいないので、ほどほどにしましょう。ラインなどでトラブルも出ています。

八、毎日机の前に座る習慣を身につけよう。

- ゆくゆくは、自学自習が学力向上の力になります。

九、英語を学習し、他の国のこともいっぱい知ろう。

- 日本語で「ありがとう」と言われたら、「いいえ、どういたしまして」と返します。英語では「ありがとう」と言われたら、「そうするのは私の喜びだよ」と返します。人にいろいろしてあげることが「喜び」なんて、素敵じゃないですか。

十、人のせいにしないようにしよう。

- 自分の責任が少なくなるように感じますが、違います。友だちが少なくなります。

お恥ずかしい話なのですが、私が学校の価値に気づいたのは、学校を卒業した後のことでした。「もっと勉強しておくのだった。」そう思いました。入試でダメだったのです。

たいていの子どもは勉強が嫌いなので、「勉強をその子の自主性に任せる」ような指導はどこか無理があり、おかしく、能率の上がらないこと、著しい。そういう意味で、教育は「子どもの自主性に任せる」といった曖昧なものではなく、むしろ「熱意のある指導者に仕込まれるもの」なのかもしれません。その指導者とは親であり、先生です。